

岸田首相は、安倍元首相の国葬を直ちに中止せよ！

私たちは、安倍元首相の国葬に、断固反対する！

安倍元首相は、2015年8月に戦後70年談話を発表した。「慰安婦」の言葉は一つもなく、「子や孫に謝罪を続ける宿命を背負わせてはならない」とした。人々の記憶から都合の悪い歴史を消し去ろうとすることは、次世代への責任の放棄だ。同年12月、「日韓合意」が発表され、「慰安婦」問題の「最終的かつ不可逆的解決」を宣言。この時安倍元首相は朴槿恵大統領に電話で謝罪したと言いながら、国会で被害者への謝罪の言葉を何度促されても拒否し、謝罪の手紙について問われると「毛頭ない」とすかさず応答した。

日本軍性奴隷として人生を奪われながらも、勇気をもって名のり出たアジア各国の被害者の声に一度として耳を傾けることなく、事実を否定し、被害者を侮辱した。

安倍元首相は、「家族の絆」「家族の助け合い」を掲げてジェンダーフリーや性教育に対する攻撃を続け、女性の人権を踏みにじった。その背景に旧統一教会と自民党が一体となったジェンダーバッシングがあったことが明らかになってきた。

失われたものはあまりにも大きく、必ず検証されなければならない。

安倍元首相と旧統一教会の結びつきが明らかになっている今、岸田首相は徹底した調査を通じて安倍政治の過ちをすべて明らかにし、糾していかなければならない。

岸田首相は、国葬を止めて、市民の声に耳を傾けよ。

岸田首相が国葬を強行するなら、残された道は辞任しかない。

2022年9月21日

日本軍「慰安婦」問題解決全国行動